

明けましておめでとうございます。

先ほど行われた報告会では、「全国高校生英語ディベート大会」で、本校が全国で5位に入賞した、という素晴らしい報告がありました。また、壮行会でも、「探究甲子園2021」や「東関東アンサンブルコンテスト」への出場が決定するなど、明るいニュースで新学期がスタートできることをとても嬉しく思います。

冬休み中は、中高の多くの部活動が、活発に活動していました。年が明けた1月4日には、佐高西隣にある天神様「朝日森天満宮」に初詣に行きましたが、夏の大会での必勝祈願に来た野球部の生徒たちと一緒にになりました。「天神様のなで牛」は、彼らにも人気でしたが、今年はうし年なので、「うし」について紹介しようと思います。

天神様と牛とのかかわりは諸説あるようですが、「天神様のなで牛」の案内板を読んでもみると、「朝日森天満宮の御祭神 菅原道真公は、反芻類の牛が繰り返し噛み砕き消化することを学問になぞらえ、大変かわいがられたそうです。」とありました。天神様は、学問の神様とされていますが、牛が食べたものを繰り返し噛み砕いて消化することを学問になぞらえるという説明には、（私は生物が専門なので）思わず、なるほどと納得しました。

また、今年の干支という言葉で、ウシを表す際には、動物の牛ではなく、「草木も眠る丑三つ時」で使われている「丑」という字が使われています。

この「丑」という漢字は、手の指に力を込めて曲げた形を表した象形文字で、元々は、ひねるや曲げるといった意味で使われていましたが、作業の準備段階も表していることから、「はじまり」といった意味が生まれました。

つまり、丑年には、新たな命の息吹があり、大きな希望が芽生える年になることを指し示しているそうです。ここは、その言葉を信じることにしましょう。

さて、続いて、今、皆さんが一番気がかりな新型コロナウイルスの感染拡大に関する話をしたいと思います。

本日、1月8日から来月7日までの期間で、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県首都圏を対象に、緊急事態宣言が発令され、昨日の東京都の感染者数は2447名でした。県内でも、感染拡大に歯止めがかからず、7日は130人の感染者が判明しています。この130人という数字は、東京都の2447人に比べると、10分の1以下かも知れませんが、栃木県の人口は東京都の人口の7分の1以下ですので、人口比で試算すると、東京都の感染者数940人程度*に相当します。

(注、大まかには、栃木県の感染者数を7倍すると、東京都の人口に換算した感染者数を試算することが出来ます。本日(8日)の栃木県の感染者数は、150名でしたので、7倍すると、東京都換算で1050名になります。とうとう1000人越えとなってしまいました。)

また、直近1週間の人口10万人あたりの新型コロナウイルス感染者数は、いつの間にか、東京、神奈川、京都に次いで、全国で4番目*の高い数値を示しています。

(注、これも8日現在では、京都を抜いて全国で3番目の高い数値となってしまいました)

そのため、栃木県でも、県の警戒度を4段階で最高の「特定警戒」に引き上げるとともに、1月6日には、先ほどの4都県への往来自粛、午後8時以降の不要不急の外出自粛など、県民に対する新たな要請が県知事から出されています。

(注、知事は8日の会見で、1都3県を対象に発令された緊急事態宣言について「栃木県の追加発令を要請すべく調整をおこなっていく」と述べています)

一方、学校においては、学びを保障することと、校内の学習活動で感染拡大の状況が見られないことを踏まえ、本県では、「休校」や「分散登校」ではなく、「通常登校」を継続することになりました。

(注、7日の教育長の会見では、「油断はできない状況で、分散登校や休業もありうる。(対面授業とオンライン授業を合わせた)ハイブリッド的な教育の在り方も検討しながら取り組んでいく」と述べています。このため、感染状況によって、今後の対応は流動的です。)

これまで、全国各地の学校で感染者が出ているのは事実ですが、感染源としては家族からの感染であったり、特定の部活や寮生活の中で感染が広がったり、というケースがほとんどで、通常の授業での学習活動の中では感染が広がっていないことや、マスクなしで近距離で会話したり、食事することの危険性が非常に高いこと、などが分かってきました。

こうしたことから、1学期の分散登校期間中は、例えば、理科の実験や観察、調理実習、合唱や器楽の演奏など、感染リスクが高いとされる学習活動は控えてきましたが、今回の「特定警戒」では、かつてのように、実験・観察や調理実習、合唱や演奏などを一切やらないというのではなく、マスクなしで、人と接触したり、近距離で密集したり、長時間向かい合わせになったりしないよう、十分な配慮や消毒を徹底したりしながら、必要性の高い教育活動は実施していく、ということになりました。

(注、この考え方については、高校教育課に確認した内容です。)

そこで、生徒の皆さんにお願いしたいことが3つあります。

- 1 健康状態の確認や体温の記録の徹底です。
→熱があったり、体調が悪い、といった場合は、その旨を連絡してくれれば、出席停止扱いになりますので、無理して登校することのないようにお願いします。
- 2 密閉・密集・密接、いわゆる三密を避けること。
→特に、マスクなしで近距離で会話したり、食事したりすることは絶対に避けてください。最も感染リスクが高いといわれています。お昼は、とにかく無言で食べることを、これが最も重要です。
- 3 咳エチケットやうがい・手洗い、アルコール消毒の励行です。
→教室やトイレの出入りの際には、備え付けのアルコールでこまめに消毒することを心がけてください。

基本的には、これまでの学校での学校生活が大きく変わる、というものではありません。しかし、これまで以上に感染を避ける意識を高めていく必要があります。また、今後の部活動の在り方や各種大会の開催については、何らかの方針が示されると思いますので、それに従ってください。

ところで、中学生や高校1年生にとって、コロナの影響による悪い話と良い話があります。12月15日、ALTのデリアン先生の送別会を昼休みに行ったことを覚えているでしょうか。デリアン先生の代わりのALTが1月中に来日する予定でしたが、コロナの影響で当面、来日できなくなりました。これが悪い話です。そして、いい話としては、新たなALTが着任できるまで、離任したデリアン先生が再び、本校に戻ってきてくれることになったことです。これまで通り、ご指導していただけることになりました。

続いて、高校3年生についてですが、1月16日から始まる大学入学共通テストに向けて、冬休み中も学校で直前の対策に励んできていました。今年度から始まる共通テストでは、その努力の成果が試されることとなります。まずは、これからの約1週間、しっかり体調を整え、そして本番ではこれまで頑張ってきた自分を信じ、これまで積み上げてきたものを確実に発揮できるよう、焦ることなく、最後まであきらめずに、結果を恐れずに、解答用紙と向き合ってきてください。

なお、例年は、試験当日の朝、会場となっている足利大学の門の前で、先生方による激励を行ってききましたが、今回はコロナの影響で、激励はできなくなりました。この場をお借りし、3年生の激励を行いたいと思います。頑張ってきてください。

最後に、生徒の皆さん一人一人にとって、大きな希望が芽生え、実り多い一年となることを心から祈り、3学期始業式の校長式辞とします。